

2階の特徴

- ・自分に合った居場所や本に出会える空間にする。
- ・新たな学びや本との出会いを通じて、一人ひとりが知的探索（深める）することができる環境づくりを行う。

2階 コンセプト

「新たな学びや自分に合った居場所に出会えるフロア」

① <北西書架エリア>

～落ち着いた雰囲気と本と出会う空間～

多世代で人気のある文学や文庫などの書架を置き、本を手にとってもらう工夫として書架照明を設置する。



⑦ <北側窓面の閲覧席エリア>

～一人ひとりが集中できるパーソナルスペース～
一人ひとりが静かな空間で、集中して読書・調べもの・学習などができる個室のような閲覧席エリアを整備する。



⑥ <知的探索エリア>

～気軽に立ち寄れるレファレンスエリア～

- ・図書の貸出・返却業務を自動化することで、レファレンス等の相談業務を中心としたカウンターとし、気軽に立ち寄れるよう什器などを工夫する。
- ・地域資料、行政資料、専門書などの調べものに活用できる資料を置く。

② <南側窓面・階段・吹抜けまわりの閲覧席エリア>

～お気に入りの席に出会える自分に合った居場所～

窓面や階段回りの少し開けた閲覧席には、カウンター席や什器の組み合わせを変えるなど、自分に合った閲覧席に出会えるエリアをつくる。



③ <若い世代向け書架エリア>

～若い世代が集まる隠れ家のような居場所～
書架の並びに変化をもたせ、スタンド照明とあわせて隠れ家のような居場所をつくり、蔵書を工夫するなど、若い世代向けの空間をつくる。



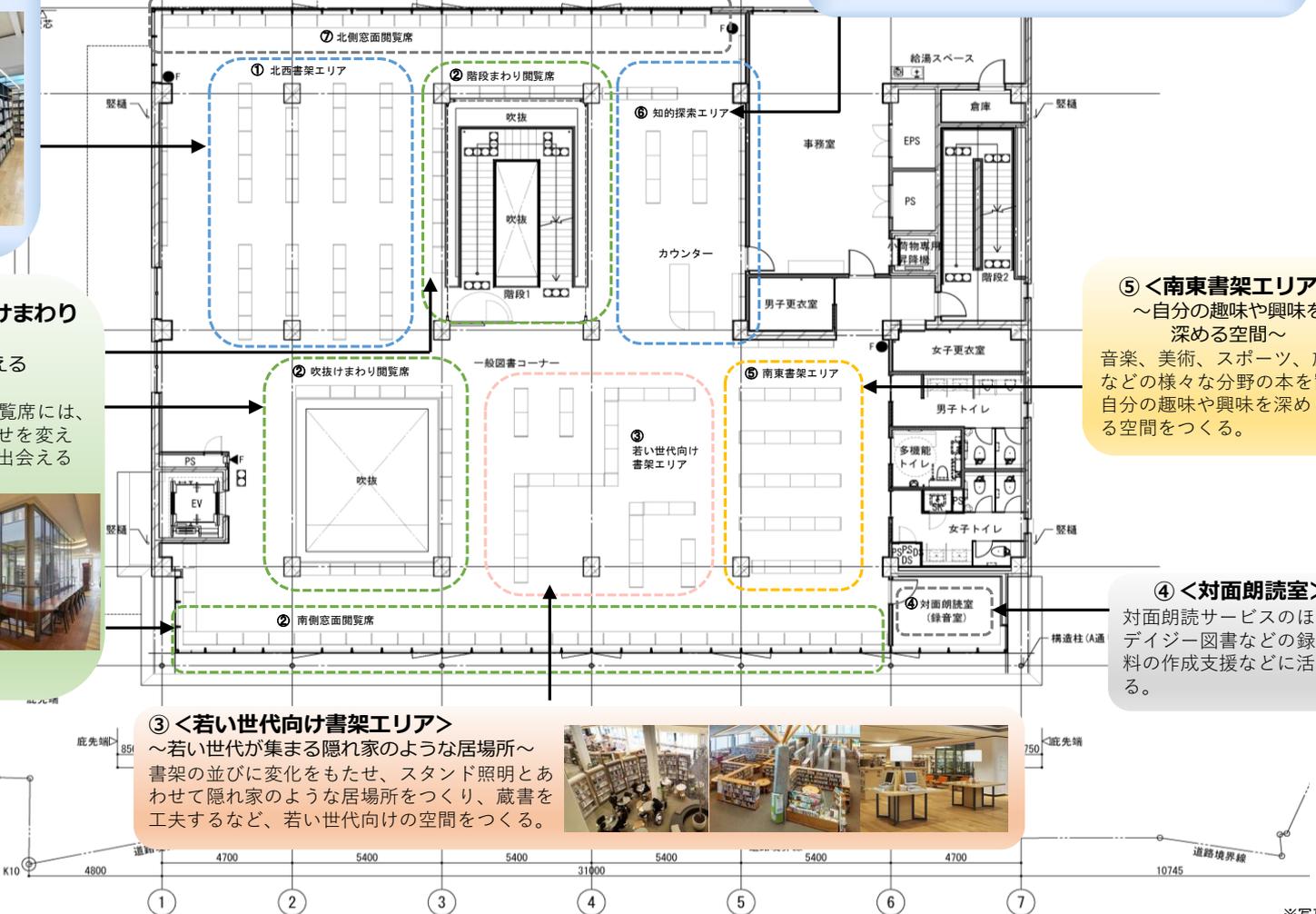
⑤ <南東書架エリア>

～自分の趣味や興味を深める空間～

音楽、美術、スポーツ、旅行などの様々な分野の本を置き、自分の趣味や興味を深められる空間をつくる。

④ <対面朗読室>

対面朗読サービスのほか、デージー図書などの録音資料の作成支援などに活用する。



3階の特徴

- ・羽根木公園と図書館がつながり、自由に行き来できることで、子どもだけでなくファミリーなど多世代の学びのきっかけをつくる。
- ・自然やまちの景観を感じられる居心地の良い場を設けるなど、一人ひとりが自由にくつろげる空間をつくり、感性を育む。

3階 コンセプト

「自然を感じながら感性を育むフロア」

① <多目的室>

～様々な目的に使用できる
フレキシブルな空間～

可変性の高いパーソナルなテーブルを置き、本の著者による講演会、映画上映、健康講座等のイベント、小規模の勉強会、学習室など様々な目的に合わせて使用する。

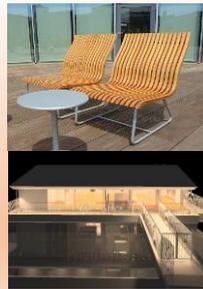


⑥ <ブリッジ>

羽根木公園と直接つながるブリッジを設置し、利用者の利便性向上などを図り、公園やプレーパークと連携したイベントなどを行う。

⑤ <テラス>

～自然や景観を感じながら過ごせるテラス～
・開放されたテラスで自然やまちの景観を感じながら、読書や親子での読み聞かせなどができる。
・夜はテラスの柵をライトアップし、図書館の利便性・視認性を高め、森（公園）の中にある図書館を演出する。



④ <おはなしの部屋>

～自由にくつろげる優しい空間～
・子どもや親子などがくつろげるように什器などを工夫する。
・自由に絵や文字をかける壁面を設置する。



② <公園と図書館がつながるエリア>

～図書館内も緑を感じられる
公園と一体性のあるエリア～

- ・フェイクグリーンや木目柄の什器を使用することで、利用者が公園との一体性やつながりを感じながら、自由に利用できる居心地の良い空間をつくる。
- ・料理・手芸・子育て・ペット関係など生活に役立つ本を置き、子どもを遊ばせながら大人も本を読むくつろぎの場をつくる。



③ <子どもコーナー>

～楽しみながら本と出会う空間～

- ・楽しみながら読書ができるように書架の形状などを工夫し、子どもがわくわくするような什器を取り入れて、子どもと本との出会いのきっかけをつくる。
- ・夜は可動式書架を活用して、大人向けの絵本を並べるなど、大人も利用できるコーナーにする。

